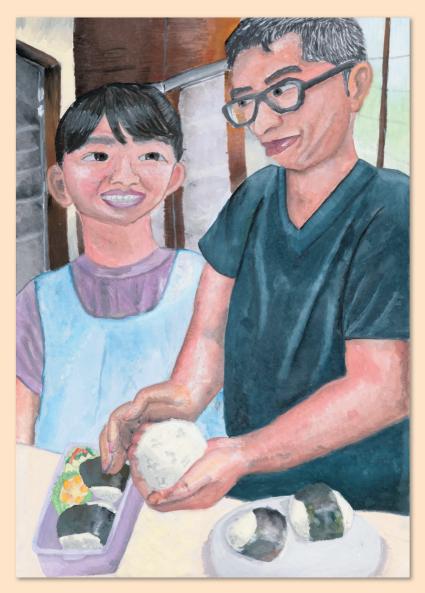
第48回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール募集要領



第47回 図画部門 岩手県知事賞 「初めてのお弁当づくり 〜お父さんと一緒に〜」 一関市立滝沢小学校 6年 千葉 心遥さん

主 催 岩手県内各JA、JA岩手県中央会

後 援 岩手県、岩手県教育委員会 いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会 一般社団法人家の光協会東日本普及文化局 株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県信連 JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

岩手県知事賞 第47回 作文部門 「米ニケーション」 一輝さん 宮古市立津軽石中学校 1年 相澤

まらない。母の作るご飯は世界一。僕は絶対に残さないと コンビを目の前に、 あちゃん卵焼きと、 いただきます。 朝の始まりは、

仙台のおばあちゃん直伝の通称ぽっぽば 母お得意のちくわの照り煮。この最強 時計を気にしつつご飯を食べる手は止

三の北海道に住んでいたあの日からだ。 二〇一八年九月六日。 夜中に突然大きな揺れを感じた。

いうことを心に決めている。そう思うようになったのは小

戚の熱い想いが込められたお米を毎日食べているからこそ 届けに来てくれた。真っ白でシンプルな塩おにぎり。 そんな時、 類ばかり。 北海道胆振東部地震だ。停電は四、 学校や部活動の野球を頑張ることができる。ありきたりな 僕の体はその米でできていると言っても過言ではない。親 たり頂いたりしているからだ。お中元、お歳暮と言えば米 日過ごした。店に行っても、売られているのはパンや菓子 のはパンやお菓子。家の中は真っ暗だった為、避難所で数 ないことに気付いた。親戚が米農家の為、その人から買っ に見えた。久しぶりのお米に感動し、一粒一粒大事に食べ し、その時の僕には、まるで光り輝くダイヤモンドのよう 言葉だが、まさにパワーの源だ。 考えてみると今まで、店で売っている米を食べたことが 僕は、あの時の一口目の味わいは一生忘れないだろう。 母の友人が温かいおにぎりを作って、避難所に パンが好きな僕でも、さすがに飽きてしまった。 五日続いた。 食べるも しか

四十五分と少し遅くなったので、腹持ちの良いご飯に変え た。どうしてもパンが食べたい時は、 そこで僕は考えた。『米を食おう。』朝はパン食が好きだっ ことにした。野球の試合の合間には、 はど素人だ。野球経験のある同級生には到底敵う訳がない 野球をしていると言えばかっこ良く聞こえるが、 中学生になってからは給食の時間が十二時 栄養補助食品におに おにぎりを追加する 実は僕

> くれて、給食の時間に大きな鍋を持って来て、 る気がみなぎってくる。学校の先生も身体作りに協力して ぎりを持っていくようにした。お米を食べるとやっぱりや

「いっぱい食べて強くなるんだぞ。」

製中華鍋で作るチャーハン。 と称し、二階の部屋に届けてくれた。岩手が誇る南部鉄器 書いている今も、 食べる自分がおかしくもあり、 先生の期待を背に受け、溢れんばかりの給食を一心不乱に と言っては皿いっぱいにおかずやご飯をよそってくれる。 の大好物だ。 父特製チャーハンを「ウーバーイーツ」 栄養満点、 嫌いではない。この作文を 愛情たっぷり。僕

夢が、未来が、茶碗の中いっぱいに詰まって岩手山の如く じている。一杯のご飯から伝わるたくさんの思い。愛が、 生活に全力投球できている今、 に部活動に励んでいる。 れ。この景色、 心地よい風、ほんのり香る潮の匂い、津軽石川の優しい流 登下校中の自転車から見える緑いっぱいな眺め、 ン』と言えるのではないだろうか。自然豊かなここ岩手。 から不思議だ。米と人との共存、これこそ『米ニケーショ もない会話や笑顔も、全てご飯を通じて温かいものとなる 山盛りになっているのだ。食事中に繰り広げられるたわい 親戚、先生、 匂い、音、 家族、 たくさんの人達に支えられて中学校 全てを全身で感じ、今日も勉学 ありがたさを身に沁みて感 海からの

口を動かし箸を動かしお腹いっぱいだ。 夏休みの観察で育てた真っ赤なミニトマト。 たこと、部活動でフライの球を上手にキャッチできたこと か今かと狙いを定めている。 ご飯。お隣さんから頂いた魚をサクサクのフライに。妹が 汗びっしょりで帰宅すると、食卓に並ぶ美味しそうな夕 国語の授業で音読を褒められ それを弟が今

『ごちそうさまでした。』 そして今日も美味しいご飯に感謝を込めて

目 次

岩手県コンクール募集要領	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
全 国コンクール募集要領	•				•	•	•	•	•			•	•	•	3
個人作品貼付用応募票(切り	取	IJ)						•	•				•	7
応募者一覧表(切り取り)	•			•											9

第 48 回「ごはん・お米とわたし」作文・図画 岩 手 県 コ ン ク ー ル 募 集 要 領

【趣旨】

このコンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的に実施いたします。

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【主催】

告 手 県 内 J A J A 岩 手 県 中 央 会

【後援】

岩 手 県 いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会株式会社日本農業新聞東北支所 J A 岩 手 県 厚 生 連 J A 共 済 連 岩 手

 岩
 手
 県
 教
 育
 委
 員
 会

 一般社団法人家の光協会東日本普及文化局

 J
 A
 岩
 手
 県
 信
 連

 J
 A
 全
 農
 い
 わ
 て

【応募資格】

岩手県内の小学校および中学校に在籍する児童・生徒。 岩手県内の特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

1部:小学校1年生~3年生

(400 字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

- 2部:小学校4年生~6年生(400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部:中学校1年生~3年生(400字詰め原稿用紙4枚以内)
- (注)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。
- (注)本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。 ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票 の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

●図画部門

1部:小学校1年生~3年生

2部:小学校4年生~6年生

3部:中学校1年生~3年生

B3判 (364×515 ミリ)、もしくは四つ切り (380×540 ミリ) の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。(注) 地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) 応募は、ひとり1部門1点です。
- (4) 図画作品でポスター形式 (標語・キャッフレーズ文字の入ったもの) のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表(9ページ)を必ず添付してください。記載例は (10ページ)です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。
- (6) 作品には、1点ごとに必要事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。 つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照)

- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和5年2月下旬頃、JAを通じて返却 します。ただし、JAでその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅 れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、JA岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、 主催者の広報媒体(作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等)への露 出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては 顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。

【締切日】

※応募とりまとめJAを経由してご応募ください。

※県事務局の〆切は下記のとおりですが、とりまとめJAの〆切は文書をご確認ください。 ※県事務局への応募は、令和5年9月1日(金)必着

【審査委員】

総合委員 小 岩 和 彦 氏(元岩手大学教職大学院特命教授)

専門委員 佐々木 俊 江 氏(盛岡市下橋中学校指導教諭)

山 下 るり子 氏(盛岡市教育委員会学校教育課主任指導主事) 専門委員

他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会東日本普及文化局、 株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県中央会、JA岩手県信連、

JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

【審査会】第1次審査会…全国コンクールへ推薦する作品を選定 第2次審査会…本県コンクールの各賞入賞作品を選定

【賞】(予定)

• 岩手県知事賞

作文・図画部門各1名 計2名 賞状と副賞

- ・(一社) 家の光協会東日本普及文化局長賞 作文・図画部門各1名 計2名 賞状と副賞
- · J A岩手県五連会長賞

作文・図画部門各1名 計2名 賞状と副賞

• 学校奨励賞

作文·図画部門各1校 計2校

賞状と副賞

· 岩手県教育委員会教育長賞

作文・図画部門各1名 計2名 賞状と副賞

· ㈱日本農業新聞東北支所長賞

作文・図画部門各1名 計2名 賞状と副賞

• 優秀賞

若干名 作文·図画部門 賞状と副賞

佳作

作文·図画部門

若干名

賞状と記念品

※応募者全員に参加賞を贈呈する(9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ)

【入賞発表】

全国コンクール : 令和5年12月上旬 岩手県コンクール : 令和5年12月中旬

(応募取りまとめ J A を経由して、入賞校、入賞者宛に通知します)

【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。

期間:令和6年1月中旬~2月上旬に1~2週間程度。

●送り先および問い合わせ先

最寄りのJAを経由して

〒020-0022 盛岡市大通り1-2-1 産業会館内 JA岩手県中央会JA支援部 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで

TEL: 019-626-8519 FAX: 019-623-6117

E-mail: kouhou@jaiwate.or.jp

第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画全国コンクール募集要領

【課 題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。 特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

1部 小学校1年生~3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

2部 小学校4年生~6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)

3 部 中学校 1 年生~3 年生 (400 字詰め原稿用紙 4 枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生~3年生
- 2部 小学校4年生~6年生
- 3部 中学校1年生~3年生

B3 判 $(364 \times 515$ ξ))、もしくは四つ切り $(380 \times 540$ ξ)) の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

(注)地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1)作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの 裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照) ①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在 地(郵便番号・電話番号)⑤JA名
- (2)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください (学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。
- (3) 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

(4)作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

- (5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。 また、他のコンテストに応募していない作品に限りま す。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募で きません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利 を侵害する作品は応募できません。
- (6)ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (7)合作は応募できません。
- (8) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。
- (9)学校で応募の際は、別添の推薦名簿 (9ページ)を必ず添付してください。
- (10) 作品を応募することによって、応募作品を JA グループ (後援協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。
- (11)記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰 式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情 報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、 JA グループ (後援協賛団体を含む)の広報媒体 (入賞 作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの 広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあ ります。上記および、法令等により開示を求められた 場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者 に個人情報を提供することはありません。
- (12)作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。
- (13) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みや オリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への 違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消し ます。

【締 切 日】

岩手県締切

令和5年9月1日(金)必着

※全国審査応募は、10月26日午前中全国事務局作品係必着

【審 査 員】

炸納 精產 大

(東京農業大学客員教授)

作文部門 設楽 敬一氏

((公社)全国学校図書館協議会理事 長)

竹村 和子氏

((公社)全国学校図書館協議会常務理 事・事務局長)

堀米 薫氏

(児童文学作家、(一社)日本児童文芸 家協会理事)

真鍋 和子氏

(児童文学作家、(一社)日本児童文学 家協会評議員)

图画網審查委員長 尾木 直樹 氏

(教育評論家、法政大学名誉教授、臨 床教育研究所「虹」所長)

図画部門 岡田 円治氏

(元株式会社 NHK アート代表取締役社長、 日本美術家連盟準会員)

岡村 泰成 氏

(美術家集団「Moss Spirits」代表、

日本美術家連盟会員)

小柳津 須看枝 氏

(日本美術家連盟会員)

西巻 茅子 氏

(絵本作家)

東良 雅人氏

(元文部科学省初等中等教育局視学官、 京都市教育委員会総合教育センター副 所長)

【賞】

(1) 内閣総理大臣賞

作文・図画部門各1名 計 2 名 賞状と副賞(記念盾及びお米券、記念メダル)

(2) 文部科学大臣賞

各部門各部ごとに1名―― 計 6 名 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)

(3) 農林水産大臣賞

各部門各部ごとに1名—— 計 6 名 賞状と副賞(お米券及び記念メダル) (4) 全国農業協同組合中央会会長賞

各部門各部ごとに1名 計 6 名 賞状と副賞(お米券及び記念メダル)

(5) 優秀賞

各部門各部ごとに 15 名 計 90 名 賞状と副賞 (記念メダル)

(6) 学校奨励賞

内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣 各賞受賞者所属校———— 計 14 校 賞状

【入賞発表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通知 します。新聞などメディアへの発表は、令和5年 12月上旬を予定しています。

【主催・後援・協賛】

●主催

農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会 /全国農業協同組合中央会

●後援(予定)

文部科学省/農林水産省/こども家庭庁/全国都道府県教育委員会連合会/全国市町村教育委員会連合会/日本放送協会(NHK)/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/(公社)全国学校図書館協議会/(公社)日本PTA全国協議会/(公社)米穀安定供給確保支援機構

●協賛

全国農業協同組合連合会/全国共済農業協同組合連合会/農林中央金庫/全国厚生農業協同組合連合会/(株)日本農業新聞/(一社)家の光協会/(一社)全国農協観光協会

【送り先および問い合わせ先】

最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係もしくは 都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」県事務局(2ページ)へ

本コンクールの審査基準は以下の通りです。応募の際にはご留意ください。

作文部門審査基準

"上手な作文"よりも下記の点で"よい作文"を評価する。

- 1. 課題に沿った作品であること。
- 2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、 かつ、年齢相応の言葉で表現していること(子どもはよく難しい言葉を使い たがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない)。
- 3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に 述べていること。
- 4. 自分の生活経験がにじみ出ていること(抽象的、一般的なことのみに終始 するものは好ましくない)。
- 5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
- 6. 規定の枚数であること。
- 7. 誤字、脱字がなく、その他の表記(かぎかっこや句読点など)も正確であること(誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください)。
- 8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3 行目から本文を書き出す(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目か ら本文を書き出す)。

図画部門審查基準

<主題のとらえ方について>

- 1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした 明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
- 2. 理解させるためディスカッションすること。
- 3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

- 1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
- 2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
- 3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
- 4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
- 5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの(擬人化したもの)、 および実在しないもの(空想やファンタジー性のあるもの)。
- 6. 石、木片などを貼りつけたもの。
- 7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
- 8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
- 9. 台紙に貼って応募したもの。
- 10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
- 11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクス クリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対 象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの

(例.トラクターの乗車定員オーバー(2人乗り)、乗車装置でない荷台に乗った 姿が描かれたもの など)

個人作品貼付用 応募票

	都道府県コード	作品番号	部門			
作品番号			作文・図画			
作品の題名						
フリガナ						
氏名						
フリガナ			学 年			
学校名		学校	年 組			
フリガナ						
学校所在地						
電話番号						
JA 名						

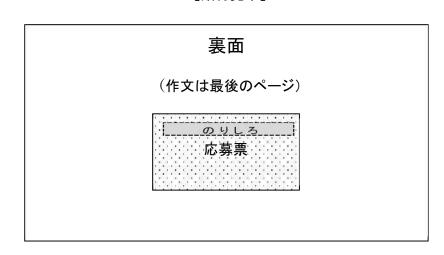
(注)

1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に下図"のりしる"部分のみ貼付(のり付け)してください。

(太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)

- 2. コピーして作品に貼付してください。
- 3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】





応募者一覧表

<u>学</u>	2 校 名	, .			小・中学校
電	記話番号	1 :		ご担当者名:	
				扱いJA名(Ј А
		作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				

※上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数	点

応募者一覧表(記載例)

学校名:	〇〇市立	000	小	• 中学校

電話番号: ご担当者名:

扱いJA名 (JA

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1	図画 1部	2年	岩 手 太 郎	イワテ タロウ
2	作文 2部	4年	盛岡花子	モリオカ ハナコ

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を 全国コンクールに推薦します。(岩手県コンクールを経由しない作品 は全国コンクールに応募できません。)

